

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2026年6月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2026年6月16日～6月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 117社
- 回収率 58.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況※全産業の6月の状況を見ると業況DIは、前月より6.8ポイント改善の▲29.9なった。

2017年9月以来106ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3カ月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲32.4、当月と比べ2.5ポイント悪化が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2026年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2026年7月～ 2026年9月
業況	▲18.7	▲22.8	▲19.4	▲28.9	▲36.7	▲29.9	▲32.4
売上	▲3.9	▲12.2	▲7.7	▲10.3	▲10.0	▲21.2	▲15.3
採算	▲21.1	▲17.0	▲17.8	▲23.8	▲30.9	▲31.4	▲31.4
仕入単価	▲53.2	▲55.2	▲62.8	▲68.9	▲69.1	▲74.6	▲66.9
販売単価	26.5	26.8	27.1	30.4	30.0	35.6	37.3
従業員	34.3	35.0	37.2	30.4	27.5	27.1	28.8
資金繰り	▲14.9	▲15.4	▲14.7	▲16.3	▲14.2	▲14.4	▲17.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2026年 1 月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 2026年7月～ 2026年9月
建設	▲34.5	▲27.6	▲24.2	▲40.0	▲46.2	▲46.4	▲42.8
製造	▲13.8	▲17.2	▲17.3	▲25.8	▲29.6	▲25.0	▲28.6
卸売	▲17.9	▲27.0	▲21.4	▲14.8	▲22.2	▲9.5	▲19.0
小売	▲35.3	▲25.0	▲44.4	▲33.4	▲45.0	▲40.0	▲45.0
サービス	4.0	▲17.4	▲4.0	▲30.8	▲45.0	▲25.0	▲25.0

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・資機材の不足、高騰などによる進捗率の遅れ、建設費（建築工事）上昇による発注側と請負う側のずれで受注に影響。（総合工事） ・米イランの覚書で原油価格には鎮静化の期待があるが、資材高は持続している。当社は人員確保に伴う賃金増が経営を圧迫しており、利上げによる投資抑制による工事減少も懸念される。6 月成立の補正予算は現状防衛の色が濃く、現場の投資意欲反転には力不足だと感じている。（設備・その他） ・住宅市場の縮小と需要の低下が続いているところに、少ないパイの獲得競争の激化で新築住宅の受注は大幅に落ち込んでいる。このような中、追い討ちをかけるように建設コストの高騰や住宅ローンの金利の上昇により、当社を取り巻く環境は一層厳しさを増している。（建築業） ・中東情勢による品不足、仕入価格の上昇が続いている。新築物件、リフォーム物件が多数決まっているので勢いは付いてきている。（建築業）
製造業	・ゴールデンウィークから夏場は閉散期に入るが、新商品が絶好調で最高売上に達する見込み。（食料品） ・中東情勢不安に伴う資材供給制限や資材費高騰の影響大。（食料品） ・資材の値上げラッシュが続いている。販売価格の値上げをお願いしているがそれ以上に資材が値上がりしている。（家具・木材） ・仕入価格の上昇。欠品確認と販売のタイミングに苦慮している。（金属窯業他）
卸売業	・お茶の品不足が続いており、特に低価の品が入手できず、7～8 月の出回りを期待している。（食料品） ・いまだサプライチェーンの正常化には時間が掛かりそうな雰囲気がある。（機械鋼材） ・前月と業況に変化はないが、仕入先各社から値上げの通知がきており、顧客に価格転嫁が難しくなっている。（その他） ・石油製品（灯油・重油）の仕入値は小幅に上下を繰り返しているが、販売価格は現状のままである。（その他）
小売業	・6 月に入り気温が高くなり昨年同様夏物商品が少し動きだしたが、中旬にかけて気温の変化も関係しているのか来店する顧客が激減し、売上が大変厳しい状況に追い込まれた。資金が大変な上、翌月以降の売上が読めない。商品の値上がりも少しあるようだ。（衣服身回品） ・旭川駅前および買物公園通りにおいて各種イベントが開催された影響もあり、人通りは前月までと比較して回復傾向。朝夕は観光客の来街も増加。インバウンド利用も一定数確認されている。一方で来店数は昨年比で約 10%減少。本格的な需要回復には至っていない。特に平日の日中は人通りが少ない日が目立ち、消費行動についても依然として慎重な傾向が続いている。今後の観光需要増加や宿泊客の回復による来街者増加に期待したい。（食料品） ・販売商品の入荷状況が良くないのが続いている。色々な面でコスト増、仕入単価も増。（自動車） ・イラン情勢の不透明感が燃料油販売に影響している。経費支出が全体的に増えてきているので価格転嫁が急務になっている。（その他）
サービス業	・燃料等の価格が上昇し、経費もかかり利益が出ない。（ホテル・旅館） ・建設資材やエネルギー価格、労務費の高騰により国内民間開発需要は減少傾向もあり一方、円安を背景に海外資本による不動産・観光開発需要は活発化している。（その他） ・イラン情勢が収束に向かうとの報道だが予断は許さない。また円安も改善の目途は立たない。夏の観光シーズンを迎えるにあたって、国内外の移動にどのような影響があるか熟考の上、経営にあたりたい。（その他）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI8.8 ポイント悪化、採算 DI7.7 ポイント悪化、仕入単価 DI5.2 ポイント悪化、販売単価 DI10.8 ポイント改善、資金 DI9.6 ポイント悪化、従業員 DI7.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.2 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 13 ポイント、設備・その他 7 ポイント改善、建築業 25 ポイント悪化となった。中東情勢の悪化による燃料高騰・肥料原料になる尿素の仕入価格急騰で製造原価が上昇し、先行きが見通せない状況であるとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI25.4 ポイント悪化、採算 DI13.6 ポイント悪化、仕入単価 DI6.4 ポイント改善、販売単価 DI9.4 ポイント改善、資金 DI3.4 ポイント悪化、従業員 DI4.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 8.9 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、家具・木材 13 ポイント悪化、食料品 31 ポイント、印刷・出版 20 ポイント、金属窯業他 3 ポイント改善となった。国際情勢。原材料エネルギー価格の上昇。労務費等のコスト増や価格転嫁、設備投資との声も寄せられている。
卸売業	売上 DI14.8 ポイント改善、採算 DI5.3 ポイント改善、仕入単価 DI11.1 ポイント悪化、販売単価 DI8.5 ポイント改善、資金 DI2.7 ポイント改善、従業員 DI2.1 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 12.7 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、繊維・衣服等横ばい、食料品 25 ポイント、機械鋼材 10 ポイント、その他 17 ポイント改善となった。中東情勢の影響でエアコンの部材の不足が起きているとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI5.0 ポイント悪化、採算 DI20.0 ポイント改善、仕入単価 DI10.0 ポイント悪化、販売単価 DI10.0 ポイント改善、資金 DI5.0 ポイント改善、従業員 DI 横ばい。総じて業況 DI は 5.0 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、衣料品、食料品横ばい、その他 5 ポイント、自動車 3 ポイント改善となった。原油の輸入が正常に戻らない影響を受け、仕入単価の上昇が続いているとの声も寄せられている。。
サービス業	売上 DI29.3 ポイント悪化、採算 DI6.2 ポイント改善、仕入単価 DI5.7 ポイント悪化、販売単価 DI1.4 ポイント悪化、資金 DI11.0 ポイント改善、従業員 DI13.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 20.0 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、ホテル・旅館 7 ポイント悪化、理美容・クリーニング、飲食、運送横ばい、その他 35 ポイント、整備業 150 ポイント改善となった。労働者不足。中東情勢の悪化による仕入価格の上昇、人件費の上昇との声も寄せられている。